

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和01年12月10日

計画の名称	江北町における下水道未普及区域の整備及び公共用水域の水質保全												
計画の期間	平成26年度～平成30年度(5年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	江北町												
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な生活を創造する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	712	A	712	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H25末)	中間目標値 (H27末)	最終目標値 (H30末)
1	下水道処理人口普及率を64.0%(H25末)から75.1%(H30末)に増加させる。 下水道処理人口普及率(%) 下水道を利用できる人口(人)/総人口(人)	64%	73%	75%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
数値目標の達成状況や事業効果の発現状況を検証するとともに、その要因を分析した。	令和元年12月
	公表の方法 江北町のホームページで公表する。
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	公共下水道の整備を進めることにより、公共下水道区域の水質保全や環境衛生の向上を図ることができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
下水道整備率がほぼ100%であることから、今後は公共下水道区域内の接続率を更に高めていくよう啓発活動を行う。	

